

向重治 （勉） 評論家。元治二年一月十六日周防國岩内生れ、昭和十八年十一月二十八日没（八六五一九四三）。師範學校卒業へ小學校教師となる。明治十七年上京、獨逸協會學校入學とストラインキを起し退學處分。二十年新教神學校に入り翌年退學。その後東京農林學校ドイツ語教師、大正六シーマン大商會社員を経て、二十八年慶應義塾ドイツ語教師、大正六年休職。またローマ字論者、雑誌『ROMAJI』編輯に従事。著書『八當集（第一編）—「故郷」誤譯問題』（大正元年九月二十五日銀龍社書店）、『萬龍未來記』（公著・野元北馬編、大正五年十一月一日須原啓興社）、『不戰條約文問題始末』（昭和四年八月十日社會評論社）、『日本式ローマ字の末期』（昭和九年九月二十日大阪・帝國ローマ字クラブ）等。

ROMAJI
Nippon ni okeru Romaji Zasshi no Ken'i



16 no Maki Dai 3 Gô

ROMAJI-HIROME-KAI